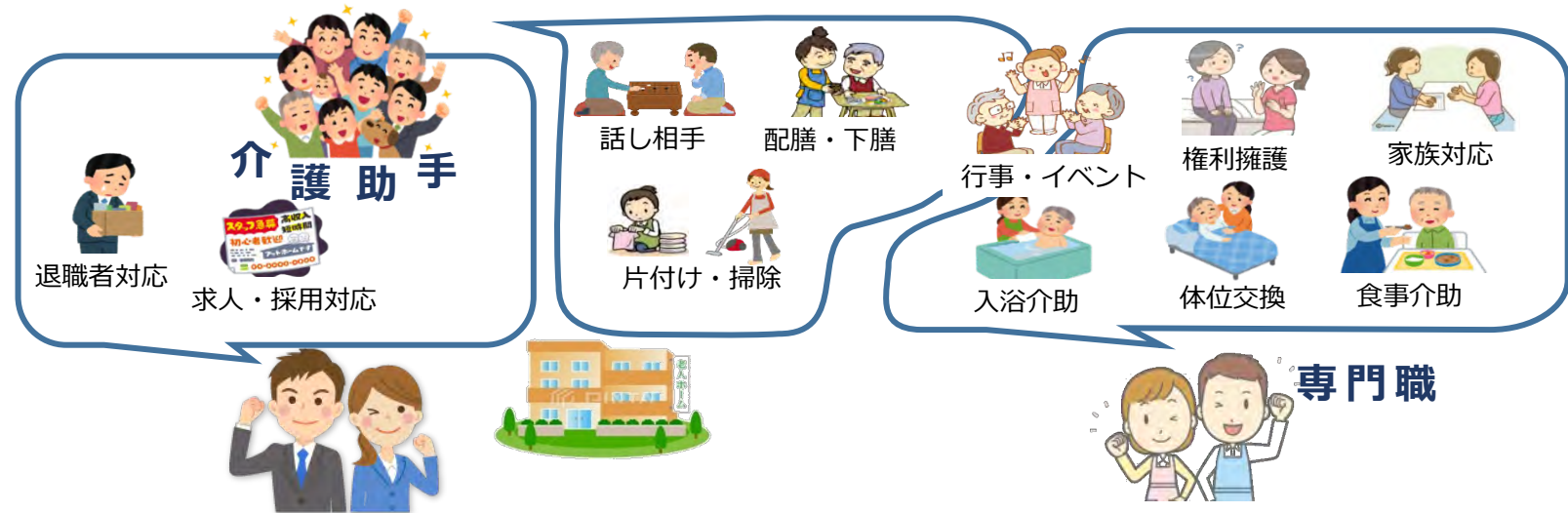


「介護助手導入支援事業」

目的

「介護職員」のうち無資格者を「介護助手等」として区別し、採用・業務を切り分けて効率的・効果的な人員の確保および活用につなげる



確保
(職員採用)

「介護施設での
ベッドメイキングなど軽作業」
専門職と区別した職員募集

介護の仕事の中にも
自分ができるような
業務がある！



「介護助手等」

目指す姿


専門的なことは
専門職におまかせ！

「介護助手等が行う仕事を限定」
専門職と区別した業務分担

活用
(業務内容)

- ・ 高齢者や子育て層など多様な人材の参入
- ・ 福祉専門職への道筋につなげる人材の育成
- ・ 求人への選択肢増による人材確保の負担減


- ・ 専門性を発揮できる環境づくり
- ・ 利用者へのサービスの質の向上
- ・ 専門職のモチベーション向上
- ・ 離職防止（職員の定着）

The background is a dark blue gradient. It features several sets of parallel diagonal lines in orange, yellow, and light blue, some solid and some dashed. A large red circle is positioned in the upper right quadrant. In the top right and bottom left corners, there are white, stylized, blocky shapes that resemble parts of a logo or abstract letterforms.

介護助手の 仕事について

目次

- 介護のイメージ
- 介護の基本（留意点など）
- 福祉の仕事とは
- 介護助手の業務
- 介護助手の必要性
- おわりに

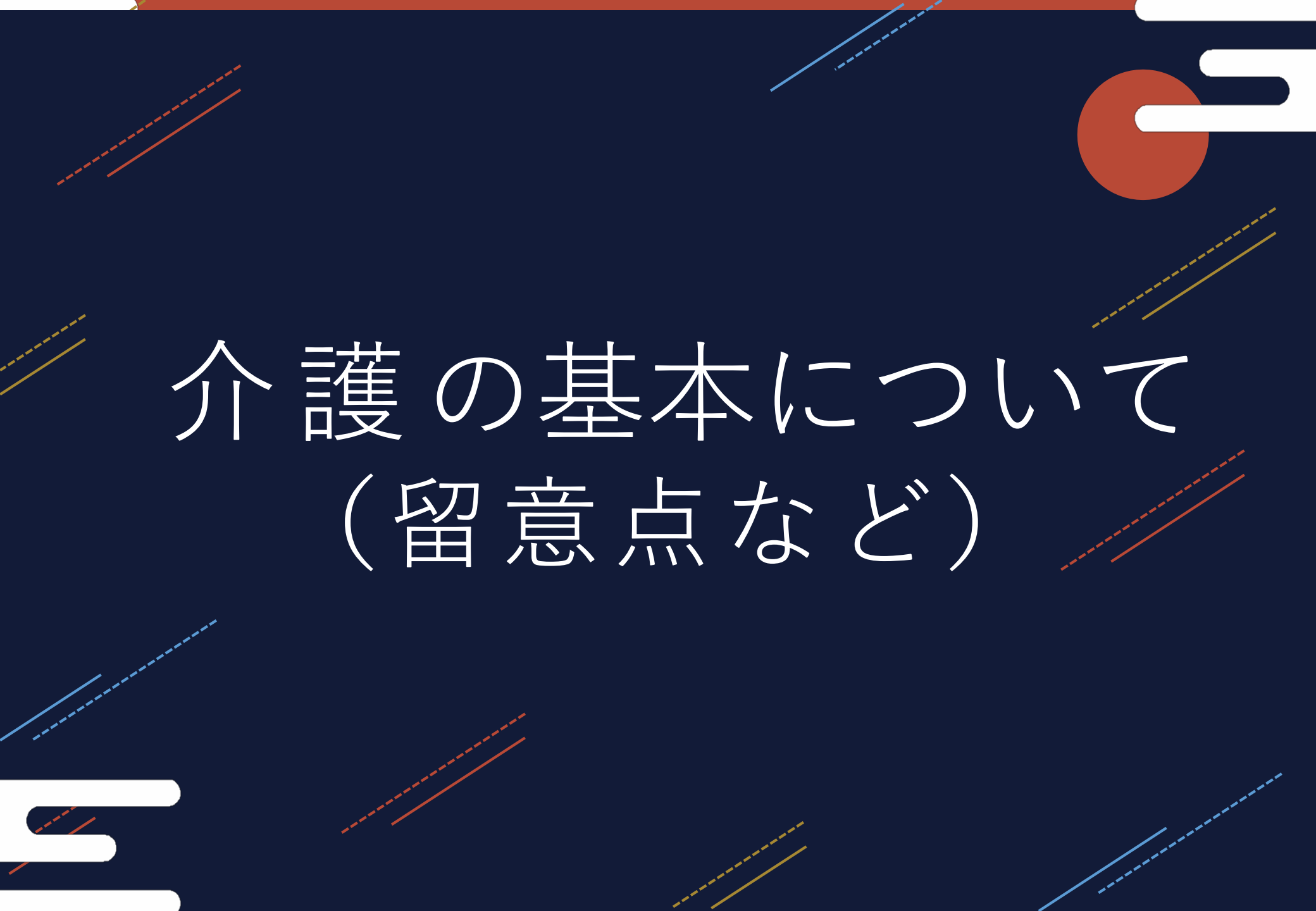


介護のイメージを
クリエイティブに
!

ライフ・ケア・クリエイター

LIFE CARE CREATOR

人生・生活を 尊重し・気にかけて一緒に作り上げる

The background is a dark blue color with several decorative elements. There are multiple sets of parallel diagonal lines in red, orange, and yellow, some solid and some dashed. A large red circle is positioned in the upper right quadrant. In the top right and bottom left corners, there are white, stylized, blocky shapes that resemble parts of a logo or graphic design.

介護の基本について (留意点など)

介護の基本について

○生活の継続性

高齢者で介護が必要になっても、できるだけそれまでと変わらない生活を自宅で続けられるようにサポートしていきます。たとえ、介護施設へ入居が必要になった場合でも安心して暮らせるように、それまでの生活環境やリズムなどに配慮することが大切です。

○自己決定の尊重

自己決定の尊重は、老後の暮らし方を高齢者自身で決め、その選択を尊重するということ。介護が必要になっても「自分がどのように生活したいのか」自分自身で決定できる環境であることが理想です。

○残存能力の活用

残存能力の活用は、今ある能力を最大限に使いながらリハビリをするということ。

日常生活において「自分でできること」は何でも自分でしてもらい、自身の能力を活かすことが大切だという考えです。

介護の三原則は、高齢者一人ひとりを尊重し最後まで自分らしく生活していくことを目的としています。

介護の基本について

介護とは、高齢者一人ひとりを尊重し最後まで自分らしく生活していくことを目的としています。

高齢になり日常生活を送ることができなくなった人に対して、その人の力を助けながら、自分でできるように支援することが、介護の基本技術となります。

介護の現場では毎日が忙しく、余裕がないという声をよく聞きます。そのため利用者や入居者の気持ちを後回しにしてしまいがちです。高齢者一人ひとりを尊重し最後まで自分らしく生活できるように支援をするためには、介護専門職と介護助手との協働が重要だと考えています。

The background is a dark blue gradient. It features several sets of parallel diagonal lines in orange, yellow, and light blue, some solid and some dashed. A large red circle is positioned in the upper right quadrant. In the top right and bottom left corners, there are white, stylized, blocky shapes that resemble parts of a logo or abstract letterforms.

福祉の仕事と
は・・・

福祉サービスを必要とする人

高齢者

住み慣れた地域で自立した生活を送りたい。



障がい者

地域社会の一員としてごく普通に暮らしたい。



児童

たくさんの愛情に包まれながら、将来に夢と希望を持ちたい。



生活困窮者

日常生活に困りごとや支障があり相談にのってほしい。



福祉サービスの形態

入所利用型		<p>利用者が施設に入所して、そこに居住し、支援が行われる。</p> <p>24時間365日体制の支援が必要なため、職員は夜勤を含むシフト（変則）勤務をする。</p>
通所利用型		<p>利用者が自宅等から施設に通って、一定時間施設内で実施される支援。 プログラム終了後は自宅に帰る。</p> <p>利用者が通ってこられる日中に勤務。 送迎車の運転を兼務することが多く、運転免許を求められる場合がある。</p>
訪問型		<p>利用者の自宅に訪問して、日常生活の介護や支援を行う。</p> <p>利用者の必要な時間に出向く。 利用者宅から次の利用者宅へ、自転車やバイクでの移動が必要な場合がある。</p>

対象者別 福祉サービス

対象者		入所	通所	訪問
大人	高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホーム ・介護老人保健施設 ・養護老人ホーム ・有料老人ホーム ・グループホームなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・通所介護 (デイサービス) ・通所リハビリテーション (デイケア) など 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護 ・訪問入浴介護 ・訪問看護/ リハビリテーション など
	障がい者	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者支援施設 ・グループホーム 	<ul style="list-style-type: none"> ・就労移行支援 ・就労継続支援(A型) ・就労継続支援(B型) ・生活介護など 	<ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護 ・重度訪問介護 ・同行援護 ・行動援護など
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・救護施設 ・更生施設 ・母子生活支援施設など 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉センター ・老人憩いの家など 	
子ども	子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児院 ・児童養護施設など 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所 ・認定こども園など 	
	障がい児	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい児入所施設 	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後デイサービス ・児童発達支援センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護など

高齢分野の介護の仕事

新人職員教育
実習生の指導



生活環境
整備



福祉用具
等の管理
補修メンテ
ナンス



食事・入浴・排泄
等身の介護



記録や報告
書等の作成



家族対応
相談援助



イベントや
季節行事
等の企画
運営



クラブ活動や
レクリエーション
の実施



介護助手の業務



業務内容(例)

- 食事介助補佐（配膳・下膳など）
- 車いす整備/洗淨
- シーツ交換
- 掃除/洗濯

介護助手の必要性

介護助手を受入れる理由

- 介護業務の軽減
- 介護業務に専念できる
- 人員不足の助け（解消）
- 採用力の強化

介護助手を受入れる理由

■ 介護業務の軽減/介護業務に専念できる

介護職員が行う業務を細分化することで、介護職員にしかできない業務に専念できる状況を作ること、介護職員の業務軽減につながります。

介護助手を受け入れることで介護職員が行ってきた補助的な周辺作業を介護助手が担当することとなり、介護職員は、介護に特化した専門性の高い業務に時間を充てられるようになる。これにより介護業務の質の向上が期待できる。

おわり
に



■ おわりに

ぜひ、介護助手として従事してください。

- 介護職員の業務軽減につながります。
- 介護に専念ができるようになります。
- サービスの質の向上 等

介護助手という業務は、介護業界では大変大切なポジションです。介護職員以外ができる業務は介護助手が行う事で介護職員は介護に専念することができます。ご利用者への専門性の高い業務に時間を充てられるようになり、介護業務の質の向上が期待できます。